



基礎から教えるマイホーム

# 絶対得する業界の常識

## 「A様邸建築取材 VOL.4」

↑ vol.80

湯浅建設さんによる

### 今月竣工の工事

アステシオビル大規模修繕工事

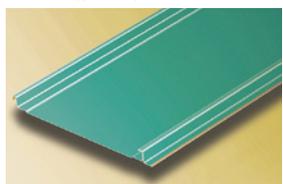


### 雨漏りをしない家……

続きまして屋根工事についてです。

私たち一般の者からすると「今の時代雨漏りなんてありえない」と思いますが、現場のプロの方の考え方は「100%雨漏りのしない家などありえない」ということです。どれほど技術が優れようが、住宅の構造上において「雨漏り」は、どんな高級住宅でも0ではありません。従って、その可能性を限りなく0に近くにするために、建築会社は手間暇をかけた、施工しています。その最も重要な部分が屋根です。

雨漏りしない屋根の工事で重要なことは「優れた屋根材」「質の高い施工」と二つあります。A様邸の屋根には「MSタフライン24WS」という屋根材が採用されました。こちらは、鋼板製で防水性に優れ、錆に強く、それでいて軽量なので、地震にも強いのが特長です。この屋根材を防水シートと共に二人の職人が完全手作業で貼りつけます。ここまですることで雨漏り発生率を限りなく0に近づけるのです。屋根もなかなか自身でチェックできない箇所ですから手抜き工事をしてしまう業者も少なくありませんので注意が必要です。



屋根材MSタフライン24WS

前号までは基礎工事の模様を中心に上棟までの様子をお伝えしました。今回の取材では湯浅建設さんの家づくりでは欠かせない、制振装置「BOSHIN」の取付と屋根工事が行われましたので、その模様をお伝えします。

### ■実は建物の倒壊は繰り返しの余震によるもの

最近建てられた建物のほとんどは、強度を高めて作られているので、ある程度の地震には耐えることができるかと思えます。しかし、繰り返し揺れが続くと倒壊に追い込まれるのです。

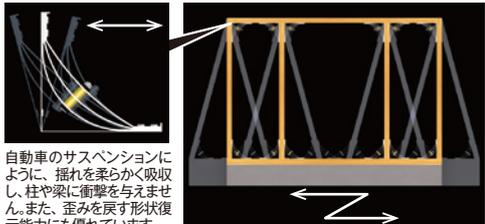
実際に、2011年の東日本大震災では、本震では耐えたが数日間続いた余震で倒壊してしまったケースが多かったそうです。

### ■BOSHINの持つ「復元力」

先述のとおり、傾いた建物は非常に脆い状態になって

### 坪単価 約15,000円で出来る地震対策

低予算で優れた制震性能を誇るBOSHINを紹介します



自動車のサスペンションのように、揺れを柔らかく吸収し、柱や梁に衝撃を与えません。また、歪みを戻す形状復元能力にも優れています。

- ①建物にかかる地震の衝撃力を1/2~1/3に低減させます
- ②繰り返し大きな余震にも、初期の耐震性能を保ちます
- ③驚異の復元性を持っています
- ④施工が比較的容易です
- ⑤工事費は他の工法の1/2~1/6
- ⑥長期の耐久性に優れています
- ⑦リフォームにも適した工法です

優れた特長



実際の施工例



アバン設計さんの実験の様子  
同社のHPで動画で見られます。

今回のA様邸は延べ床面積155㎡の3階建て木造住宅ですが、1階と2階部分に約40個の「BOSHIN」を取り付けました。コストは取付費込みで100万円程度で済み、これは一般的な制振装置のおよそ1/4程度。そして、何より将来のメンテナンスも不要ですのでこれ以上コストがかからないのも魅力です。

今回の取材を通して、家づくりには、多くの人が関わって細部までしっかりと作られていると感じました。一つの過程で質の高い工事をすることが、何十年も安心して暮らせる家を建てることには、必要不可欠だと思いました。

取材協力 株式会社湯浅建設 湯浅健司社長



### 完全注文住宅建築事例

地域に根差した  
総合建設業を目指して創業60年

## 一貫誠実



見積無料

お気軽に  
お問い合わせください!



### 完全注文住宅建築事例



株式会社湯浅建設

Tel.047-387-2281

http://www.yuasakensetu.co.jp/

湯浅建設

検索

千葉県知事 登録 第1-1203-7620号 / 千葉県知事許可(特-22)第1298号

〒270-2253 千葉県松戸市日暮5-25

月刊ハロー!取材記事のバックナンバーも掲載中!